

# ホップ ステップ ジャンプ君

原作「ミーチェク・フリーチェク」  
ヤン・マリク作

## 第1幕

音楽

ナレーター : 町のはずれに きのコミみたいに小さくて鳥かごみたいにきれいで、ひなぎくみたいに  
かわいい一軒の家がありました。  
その家には、おじいさんと おばあさんが住んでいました。  
けれども二人には、子どもがいませんでした。  
夜になると おじいさんは、新聞を読み、おばあさんは、くつしたをあみ、ふたり静かに  
すごしていました。

…幕があく。おじいさんは、新聞を読んで、おばあさんは、あみものをしている。

おじいさん : おや、また せんぷうきどろぼうだ。もう 66 台めだつてさ。

おばあさん : せんぷうきばかり どうするんでしょうね。

おじいさん : ほんとにな。

… 間 …

1

おばあさん : おじいさん。

おじいさん : うん…

おばあさん : おじいさんに誕生日のプレゼントが あるんです。

おじいさん : うん… 実は、わしも おばあさんに 誕生日のプレゼントがあるんじゃ。

おばあさん : あら 何かしら。

おじいさん : 子どもが いなくて さびしいと思ってな。(つつみを出す)

おばあさん : わたしも そう思ってね。

…二人 プレゼントを こうかんする。つつみをほどいて おどろく。

おじいさん : おや! こりゃあ すごい。

おばあさん : まあ! すてき。

…二人は、顔を見合わせて わらい、よろこぶ。動きながら音をだす。

……だんだん音楽がかなしそうになっていく。おじいさんは、手まわしオルガンのハンドルを  
まわすのをやめ、おばあさんは、たいこのバチをおく。ふたりは、顔をみあわせ うなずきあう。

おばあさん : やっぱり わたしらには 何かたりないものがあるのですね。

おじいさん : 子どもだよ。子どもがいなくちゃだめだ。

おばあさん : そうですね、ほんとに。かわいい女の子でもいて いっしょに歌ってくれたらねえ。

…おばあさんは、タイコをおき、おじいさんは、手まわしオルガンをおく。

おじいさん : 男の子だよ。元気な男の子だ。そこらじゅう はねまわっておどりだすような子だ。

おばあさん：あら なんてたって子どもは、女の子が かわいいですよ。

おじいさん：いやあ。男の子だ。子どもは、男の子にきまっている。

おばあさん：女の子ですよ。

おじいさん：男の子だよ。

おばあさん：女の子よ！

おじいさん：男の子だ！

おばあさん：女の子っ！

おじいさん：男の子っ！ （ふたりけんか別れをして上手と下手にさる）

間

…チャリン ガリン！ ふいにガラスのわれる大きな音がある。

…ボール君登場。ふたり、何かかと思っ出てくる。

おじいさん：ごらん おばあさん、ボールだ！

おばあさん：ほんとに、ボールだ！

…ふたり ふしぎそうにジロジロ見る …

ボール :おなかすいた！

おじいさん：なんだって、おばあさん？

おばあさん：なんだって、おじいさん？

ボール :おなかすいた！

おばあさん：なんか 言ったかい、おじいさん？

おじいさん：わしが？ いや、何も言わないよ、おばあさん。

ボール :おなかすいた！

おばあさん：おじいさん！

おじいさん：おばあさん！

おばあさん：このボールが！

おじいさん：ほんとだ、このボールが シャベっている！

おばあさん：ごらんよ、おじいさん、ちゃんと目があるよ。

おじいさん：ごらんよ、おばあさん、鼻も口も！

…ボール 立ち上がって…

おばあさん：手も！

おじいさん：足も！

おばあさん：天の神さまですよ、おじいさん。あんなに言い合いしたので

神さまが おくりものをしてくださったんですよ。

…ボールが とびはねまわる。それを見て二人わらう。…

おばあさん：この子に なんて名前をつけたらいいかしらねえ？

おじいさん：うーん、そうだな。はらっぺらしくん、くいしんぼうくん…

…ボールは へんな名前をつけられたら たいへんと思ひ、あわてる。

歌：ホップ ステップ ジャンプくん （全員）

おじいさん：そうか ホップ・ステップ・ジャンプくんだ！

ボール：そう！ ぼくの名前は、ホップ・ステップ・ジャンプくんです。おじいさん、おばあさん、名前長いのでホップでよろしくお願ひします！

暗転 朝

おばあさん：おはよう ホツプくん。

おじいさん：おはよう ホップ！

ボール：おなかすいた。（おきあがりながら）

おばあさん：あれ まあ！おきたと思ったら、もうおなかすいただつて。

おじいさん：いいぞホツプ、くいしんぼう！

ボール：おなかすいた！

おばあさん：よしよし、すぐ食べさせてあげるよ。お店はもう開いているだろうからね。

おじいさん：わしは、ひとつぱしりパン屋さんにいってこよう。焼きたてのパンをたべさせてやるぞ。

おばあさん：じゃあ、わたしは、しぼりたての牛乳をもらってきましょう。

おじいさん：おまえ こわくないかい？

ボール：ぼくは なんにも こわくないよ。

おばあさん：でも だれかきたら おもてで待ってておくれって言うんだよ。中に入れてはいけないよ。すぐ帰るからね。わかったかいホツプくん。

ボール：みんな わかったよ。おばあさん。

おじいさん：ちゃんと いすにすわって さわいだりするんじゃないよ。

おばあさん：それじゃあ 行ってくるよ。

おじいさん：行ってくるよ、ホツプ！

ボール：いってらっしゃい、おじいさん、おばあさんしんぱいらないよ

…戸口で二人を元気よく見送って、ホツプ君は、ドアのかぎをかける。じっとしているが、やがてそわそわしだす。スキップ始める。

2

歌：ホップ ステップ ジャンプくん（全員）

…風の音、OHP→たこ（ムラク）後ろのかべに大きくうつす。ムラク登場。

ボール：き、きみは だれ？

ムラク：おれは、タコのムラクさまだ。ほんものの竜のムラクさまだぞ。ふーん、こりゃあ うちの子どもたちのおもちゃにいいな。なあきみ、すてきなボールじゃないか、おれと遊ばないか？

ボール：だめだよ、ムラクさん。るすばんしているんだから。

ムラク：何！るすばんだつて？ ねえ、ボールくん。戸をあけてくれよ。きみみたいなすてきなボール、すぐそばで よーく見たいんだ。

ボール：だめだよ。おばあさんが 中に入れてはいけないって言ったんだ。

ムラク：でも、ボールくん…。ちょっとだけなら いいだろう。

ボール：ぼくは、ホップ・ステップ・ジャンプって言うんだよ。

ムラク：ほう、いい名前だなあ。きみジャンプできるのか？見せてくれよ。

ボール：ああ いいよ。見せてやるよ。

歌：はずむよ はずむよ (ジャンプする。)

ムラク：うまい うまい その調子！ もう1回。

歌：はずむよ はずむよ (全員) ガッチャーン

ボール：あー。 (落としたがくを見る。)

ムラク：だれだあ、だいじな がくをこわしたのは？ ホップ！

ボール：だって ムラクさんが…

ムラク：だれが こわしていいって言った！ さあ、たいへんだ。しかられるぞう。たたかれるぞう。

おまえパンクだ！

ボール：どうしよう。いやだよ ぼく。そんなの…。ぼくにげる。

…ホップくんは、おもわずドアにとびついてカギをはずす。その時を待っていたムラクは、  
ボールをつかまえる。…

ボール：わっー。

ムラク：はっ はっ はっ はっ！うまくいった。子どもたちにいいみやげだ。

ボール：おじいさーん、おばあさーん！ たすけて！

ムラク：ワァオー。ワァオー。

…おじいさん おばあさん 食べ物を持ってあらわれる。

おばあさん：ほら、しぼりたての牛乳だよ。おいしいよ。

おじいさん：このパンもできたてだ。こんなによくやけて。いいにおいだぞ。

おばあさん：ほら、ほら、おいで。ホップくん。

おじいさん：どうしたんだい、ホップ！

あばあさん：ホッパー！ (きょろきょろ さがす。)

おじいさん：もういいよ、かくれんぼは おしまいだ！ くいしんぼ！おなかすいただろう。いい物が  
あるぞ！

おばあさん：太陽さん！

おじいさん：(だんだんあわてて) ホップ！

おばあさん：おじいさん、子どもがいないよ。

おじいさん：そんなことないさ、おばあさん。

あばあさん：でも、おじいさん、あの子は本当にいないよ。

(がくを見る。それを おじいさんに見せる。) わたしらの太陽！

おじいさん：まんまるくって にこにこして。

おばあさん：むすこや、どこに行ったんだいー。(ひざまづく。おじいさん 立ちつくす)

…音楽

## 第2幕

アナウンサー：ハローハロー。お知らせします。まあらしいフットボールが、行方不明になりました。  
見るからに健康そうで 名前は、ホップ・ステップ・ジャンプくんといいます。この子どもは、家をとびだしたまま、まだかえりません。何かご存知のかたは、どうかすぐみどり J S 放送局までお知らせください。 放送をおわります。

歌：手まわしオルガン （全員）

…舞台でおじいさんとおばあさんが、歌いながら歩いている。  
前方に交通整理のおまわりさんたちがいる。笛、棒を持って合図をしている。

おまわり 1：右がわを歩け、右がわを走れ、車は左、オートバイも左。

おばあさん：ほら、おじいさん、おまわりさんが。

おじいさん：おまわりさん、ちょっとおたずねしますが、ボールがここを通りませんでしたか？  
（2に聞く。）

おまわり 2：何ですって、あなた。ここは、今では だれも通りませんよ。この交差点は、魔法にかかってしまいましたよ。たこのムラクのせいで。（空を見る。）

おばあさん：聞いたかい、おじいさん？ たこのムラクだって。 （3の方に つめよる。）

おまわり 3：ボールですか？ボールは、知りません。この交差点は、魔法にかかってしまったんですよ。  
（何か ぎこちない動作）

ふたり：へー。まー。 （おどろく、顔を見合わせ、空を見る。）

おまわり 4：さっきまで人も通ってたし、車も走っていたんですが…

おまわり 1：たこのムラクが空を飛んでいった時から ここは、だれもいなくなりましたよ。  
（こまったように言う。）

おばあさん：おまわりさんなら どこへ行ったか知っているでしょう！

おまわり 2：それが残念だけど わからないんだ。

おじいさん：しかたがない、おばあさん、先へ行こう。…間…

さようなら、おまわりさん。（おばあさんも さようならと言う。）

おまわり 3：さようなら、おじいさん、おばあさん。気をつけてくださいね。

おまわり 4：さようなら！

…手をふって別れる。音楽：手まわしオルガン

…かかし たっている。音楽とまる。照明。

おばあさん：ごらん、おじいさん かかしだよ。

おじいさん：ほんとだ、かかしのパシヤクだ。

かかし 1：おれは、パシヤクなんかじゃないぞ。ものしりはかせのハバククさまだ。

かかし2 : あっちのことも こっちのことも 昨日のことも あしたのことも 世界中のことを知っているぞ。

…二人は ははっーと ていねいに おじぎをする。…

おばあさん : ものしりはかせさま、うちのホップくんを知りませんか？

おじいさん : まあるいボールを見なかったでしょうか？

かかし3 : さあ… 道には何も通らないが、空には いつもムラクが しっぽに何かまきつけてとんでいくね。

おじいさん : ムラク？ しっぽに何か まきつけて？

かかし4 : いつだって 何か ぬすんでくるのさ。

おばあさん : ぬすんで？ そのムラクっていうのは、なにものですか？

かかし5 : ムラクは紙のタコだよ。だけどありゃ、ただのタコじゃない。魔法をつかうタコなんだ。

おじいさん : タコが魔法をつかうなんて。

かかし6 : 町のはずれで子どもたちが、タコあげしていた。その時、一番力の強いタコが あばれだし、糸を切ってにげだしたのさ。

おばあさん : ふーん。それで。

かかし 1 : かみなり雲の中までつっこんでいって、しばらくして いなびかりといっしょにでてきた。

かかし2 : こわーい顔して あくまそっくりだった。あれは、きっと かみなりに魔法をならったにちがいない …二人 あいづちをうつ。…

かかし3 : それからというものムラクは、あっちこっちとびまわって、わるいことばかり。

かかし4 : おれたちが こんなになったんだって、あいつのせいさ。

おじいさん : まさか、ホップをつれていったのは そのムラクでは。

3

おばあさん : そのタコのムラクの巣は、どこにあるのでしょうか？

かかし5 : そいつは、知らないな。だが犬のブンチクならわかるだろう。

かかし6 : ブンチクは、この道をまっすぐ行ったまきばにいるよ。七日もかかりゃしない。七つおかをこえて、七歩あるくだけさ。

おじいさん : ありがとう。

かかし1 : あー、かかしのパシヤクをわすれないでおくれ。

おばあさん : わすれませんよ。ハバククさま。さようなら！

かかしたち : さようなら！ …おじいさん、おばあさん去る。暗転。

…音楽 : 手まわしオルガン音楽とまる。照明。

犬 : わん、わん、わん。

おじいさん : ごらん、おばあさん、犬だ。

おばあさん : きっと 犬のブンチクだよ。

犬1 : おれは、ブンチクなんかじゃない。このあたりでは、名のしれたあばれんぼうのアワワン大将だ。

…二人は ていねいにおじぎをする。

4

おじいさん : アワワンさま うちのホップくんを知りませんか？

おばあさん：まあいいボールなんです。

犬2 : ホツプ? さあてねえ。

…二人をかわるがわる見る。ふと何かを思い出したらしく。

犬3 : あしたのおととい、いや、きのうのあさってだな。コップとかいう声を聞いたよ。

…二人 顔を見合わせる。

ふたり : コップ!

犬4 : おじいさーん、おばあさーん。たすけてよー。コップだよー。って。

おばあさん：そりゃあ、うちのホツプのことですね。おじいさん!

おじいさん：うん、そうにちがいない。で、それは、どちらの方から?

犬5 : おれは、かぎつけたのさ。また、よくないことが おこったって。

だってタコのムラクがとんでたからな。

ふたり : あーやっぱり!

おばあさん：アワワンさま、どこへ行ったら そのムラクに会えますか?

犬6 : それは知らないな。おれが知っているのは、あいつは、ただのタコじゃない。

電気を食べるんだ。

おじいさん：電気を食べるんだって!

犬2 : 電気を食べてどんどん大きくなって、今じゃ子ダコが 三びきいるって話だよ。

おばあさん：子ダコが三びき! (二人とも びっくりする。)

犬3 : おれたちが こうやってぶらぶらしているのも あいつのせいなんだ。

犬4 : そうだ! ことりのピーチェクなら、ムラクのいばしょを知っているよ。聞いてごらん。

犬5 : 七日もかかりゃしない。七つ谷をわたって、七回はねるだけさ。一本道だ。まようことはないよ。

おじいさん：ありがとう。

おばあさん：ほんとに ありがとう。あばれんぼうのアワワンさま。

犬1 : 犬のプンチクのこと わすれないでおくれよ。

おじいさん：けっして わすれないよ。

犬6 : こんどは、ソーセージをもってきておくれ。

おばあさん：あーいいですよ。さようならー。

…おたがいに ワンワンワン、「さようならー」

…犬、おじいさん、おばあさん いなくなる。暗転。

…音楽：手まわしオルガン小鳥たち。鳥の鳴き声。照明

おばあさん：ピーチェクさん。

小鳥1 : わたしは、ピーチェクなんかじゃない。鳥のお城のパパンドリアよ。わたしが、歌えば  
みな聞きほれる。羽は七色、にじの色。

おじいさん：ははっー。パパンドリアさま、ムラクのいる所をしりませんか?

おばあさん：うちのホツプをさらっていったらしいんですが、まあいいボールなんですよ。

小鳥2 : まあるいボール? あ, そうだ…。こないだムラクが まんまるいものをしっぽにまきつけて とんでいったのを見たわ。

おじいさん : そりゃあ ホップだ! で, そのムラクは?

小鳥3 : ムラクはね, 黒い森のむこうの高い鉄塔の上にすんでいるの。空の雲を集めて巣にしているわ。(指で さししめす。)

小鳥4 : すぐそこよ。七日もかかりはしない。七つ山をこえて 七回はばたくだけよ。一本道だからすぐわかるわ。

おばあさん : ね, おしえてください。どうしたらうちのホツプをとりかえせるでしょう?

小鳥5 : うーん。てっぽうは, 持ってないの? 手まわしオルガンとタイコじゃムラクは, たおせないわ。

小鳥6 : ムラクは, 気にいらないと すぐ魔法をかけるのよ。

小鳥2 : わたしたち黒い森にすんでたの。見はり役の合図がばれて森を追いだされたの。

おじいさん : タコのムラクには, こわいものがないのでしょうか?

小鳥3 : あるわ。それは, 風。つよーい風よ。

小鳥4 : ムラクは, 風にあふきとばされたくないの。風にとばされて人間につかまったら, もうにげられないからね。

ふたり : なるほど!

小鳥5 : でもこのごろ風もふかないの。ムラクは風を雲の中にとじこめてしまったのよ。

ふたり : 風をとじこめたって! (二人 上空をみる。)

おばあさん : どうしましょう, おじいさん。

あじいさん : とにかく行こう, おばあさん。

小鳥1 : 森でわたしの友だちをみかけたら, ピーチェクが帰りたがっていることをわすれずに話してね。

おばあさん : わすれませんよ, ピーチェクさん。

おじいさん : きっと あんたの友だちに話してあげますよ。

小鳥6 : いつでもいいから今度おかしを食べさせておくれ。

おばあさん : わかりました今度 つくって持ってきてあげますよ。

4

…おたがいに「さよならー」手をふる。小鳥の鳴き声。おじいさん, おばあさん  
ゆっくりいなくなる。

鳥の声

---

## 第3幕

音楽…森のようす

ナレーター：おじいさんとおばあさんは、黒い森にやってきました。

森の木や草はみなしおれかかっています。というのはムラクが風をとじこめたので雨雲がやってこないからです。

おじいさんとおばあさんの音楽を聞いて森の動物たちが集まってきました。

おじいさん：わしら タコのムラクから 子どものホツプをとりもどしにきたんだが、力をかしても  
らえませんか、みなさん。

動物 1：わたしたちもムラクには、くるしめられているんです。

2：ムラクが空をとぶようになっても ここは、住みよい森でした。

3：木のえだが からまりあっているからムラクもここに おりてこれないんだ。

4：でも もうだめです。ムラクが風をとじこめてから、雨雲が森の上にとんでくることは  
なくなって 長いこと雨がふりません。

5：森の木は、こんなにしおれてしまうし、沼の水もどんどん少なくなってきています。

6：今にわたしたちは、かくれる場所も のみ水もなくなってしまおうでしょう。

おじいさん：ムラクをなんとかして やっつけられないだろうかね。

…動物たちは さわぎはじめる。

7：とても だめだよ。魔法をつかうんだから勝てっこないよ。

おじいさん：風をおこすことができたらねえ。

おばあさん：ムラクをふきとばすのね。

5

…かぜ、カゼ、風、みんな考えこみました。

8：ムラクの巣の下に せんぷうきが いっぱいすててあったよ。あれつかえないかなあ。

おじいさん：なに！ せんぷう機が。

9：ムラクがね、あっちこっちで せんぷうきを とってきては、鉄塔の下にすてるんだよ。

おばあさん：ははーん。せんぷう機どろぼうはムラクだったのか！…そうだそれを つかいましょう。

動物たち：そうだ、そうだ。やろう、やろう。(口々に言う。)

…おじいさん、おばあさん、動物たち ステージ下において観客席を1周。楽器演奏する。  
ステージ上は、ムラクの巣。ボール君もいる。

子ムラク 1：へんな楽隊がくるぞ。人間ふたりと森の動物たちだ。

ムラク：ううん？人間は、鉄砲をもっているか？

子ムラク 2：もってないよ、おや何か楽器をもっているよ。

子ムラク 1：あーそれなら何もできやしない。

子ムラク 3：そうだな

ムラク：ゲー，ゲー。

…おじいさん、おばあさんせんぷうき，森の動物たちは、うちわの準備をする。

おじいさん：用意はいいか。せえーの。 …音楽，太鼓の音など。

ムラク：うるさーい，だれだ！

子ムラク1：さっきのやつらだよ。

ムラク：おい，みんな 下へ行って金をやれ。うるさくて 頭がいたい。楽隊なんかいらん。  
ほら100円，50円，10円。

…小ムラクたちが お金をもらって ステージ下へ おりていく。

子ムラク1：ムラク様のめいれいだ。楽隊なんかいらん！かえれ！

2：ムラク様がねむれないんだ。音楽 やめろー！

3：ムラク様の めいれい。 やめ やめ！

5

下のみんな：「それー」 せんぷうきをまわし，うちわであおぐ。

子ムラクたち：うわー，たすけてー。

…子ムラクたちは，からまりあって くるくるまわりながら たちまち ふきとばされる。下手に去る。  
おじいさん，おばあさん，動物たちは，わっと声をあげてよろこぶ。ムラクおきあがる。下におりてくる。

ムラク：ワァオー どけ、どけ こらーっ！

ふたり：ホップをかえせー！

ムラク：なにーい。

下のみんな：「それー」 …みんなで風をおこす。

ムラク：はははっ。これぐらいでは たいしたことないわい。それっー。

下のみんな：わーっ。(その場にたおれこむ。)

ホップ：そうだ！ 高圧線を切ろう。(横にある線をちぎる。)

…効果音(電気の音) ムラク やや弱る。それを見て下のみんな立ちあがる。

動物：みんなも手伝って！(うちわを出す。)

動物：せえーの。ふー。(風をおこす。)

ムラク：わっー。(ぐるぐる まわりながら下手に去っていく。)

みんな：やったー やったー。 …とびあがって喜ぶ。

ホップ：おじいさん，おばあさん！

ふたり : ホップ! (かけよる)

ホップ : おじいさん, おばあさん ごめんよ。あの記念のがく。

ホップ : ぼく、わざとやったんじゃないんだ。

おじいさん : おしりをたたいてやるぞ, 家出むすこ。

おばあさん : びっくりしたよ。きゅうにいなくなってしまったから。わたしら さがしてさがして  
世界中あるきまわったよ。

ホップ : ごめんなさい。もう しません。おじいさん おばあさん。

おじいさん : よしよし ちょっと とんでみたくなったんだな。 (うなづく)

おばあさん : そうだよ そうだよ もういいよ。

おじいさん : さあ うちへかえろう! ホップくん!

5

歌 : 手まわしオルガンとたいこもってる ボールが見つかったんだよ～  
おじいさん, おばあさん, ボールと動物たち手をふりながら別れる。

ナレーター : そうしてかえり道は, みんなに会って楽しい旅になりました。

町はずれに一軒の家がありました。その家には, おじいさんとおばあさんとホップくんが  
住んでいました。いつも夜になるとおじいさんは, 手まわしオルガンであのゆかいな歌を  
ひき, おばあさんは, まどガラスが ふるえるくらい強くたいこをたたき, ホップくんは  
はねておどってうたっています。

全員合唱 : ホップステップジャンプくん

気をつけ 礼

## 配役

- ・ナレーター、放送員 4人
- ・おじいさん 5人
- ・おばあさん 5人
- ・ボール君 3人
- ・ムラク 2人
- ・小ムラク 3人
- ・おまわりさん 4人
- ・かかし 6人
- ・犬 6人
- ・小鳥 6人
- ・森の動物たち 9人

## 自分の役

